

12月10日(金)／プロ野球ドラフト1位指名報告会

昌平高等学校野球部吉野創士選手 東北楽天ゴールデンイーグルス入団へ

昌平高等学校（大字下野）の野球部から1名のプロ野球選手が誕生します。

令和3年10月11日(月)、2021プロ野球ドラフト会議（新人選手選択会議）において「東北楽天ゴールデンイーグルス」から、昌平高等学校野球部 吉野創士 選手がドラフト1位指名されました。

そこで、昌平高等学校長、事務長、野球部監督、そして吉野選手が、古谷松雄町長らを表敬訪問しました。報告会では、校長らがドラフト1位指名の驚きと喜びを述べる中、町長は、吉野選手を応援する約束と吉野選手の今後の期待を述べました。吉野選手は、コロナ禍の中でも夢をあきらめることなく努力した日々の想いと、これまで自分を支えてくれた学校、野球部監督、仲間たちへの感謝の意を述べました。

社会教育課



(写真左から)高橋社会教育課長、伊藤教育長、田中副町長、古谷町長、吉野選手、黒坂監督、城川校長

杉戸町マスコットキャラクター「すぎぴょん」のぬいぐるみと吉野選手のサイン色紙を交換しました。



健康寿命をのばそう

11月30日(火)／大栄団地公園（大字下高野）

約10年前から毎年4月1日から11月30日まで朝6時30分にみんなで集まりラジオ体操を行っています。このラジオ体操には25名ほどの近隣の方が参加しています。今年最後のラジオ体操に参加者全員、元気に頑張りました。

(広報特派員 渡辺 光子)



秋を感じ、たくさんの笑顔があふれる

11月13日(土)／杉戸第三小学校区（大字堤根）

三葉子ども会恒例の芋掘りが行われました。地域の方が5月26日に紅はるかの苗を100本植え付け、世話をし、収穫の日をむかえました。今年は大きなお芋がたくさん収穫でき、子どもたちも、地域の方たちも、みんな笑顔で満足の様子。地域の方々の温かい想いが、子どもたちに伝わっていることと思います。

(広報特派員 木村 沙織)



地域の安全を守るために

12月上旬／杉戸町内（東地区）

杉戸町消防団第6分団では、年末年始を控え、分団小屋の大掃除を行いました。その後、毎週日曜日定例で行っている火の用心の巡回をし、地域の安全を見守りました。

(広報特派員 萩原 千秋)



冬の暖かさのもとで咲きました

11月25日(木)／大栄団地公園（大字下高野）

暖かな11月初旬から1輪、2輪と続いて咲き始めたさつきが見事に満開になりました。公園内に咲いているさつきは、グラウンド・ゴルフをしている人たちを和ませていました。

(広報特派員 渡辺 光子)



12月25日(土)・26日(日)／竹明かり光の回廊

古利根川に「和のイルミネーション」

古利根川散策路に、町内で切り出し加工した竹灯籠が設置され、和のイルミネーションとして優しい光に包まれていました。

商工観光課



当日は、杉戸高等学校吹奏楽部・杉の子吹奏楽団による演奏が行われ、彩を添えていました。

1月11日(火)／交通指導員初出動式

地域の安全を守るために

宮代消防署（宮代町）にて、令和4年杉戸町・宮代町交通指導員初出動式が行われました。関係機関の方々の立会いのもと、総勢22名の交通指導員の服装点検などが行われました。

くらし安全課



交通指導員は、児童・生徒の安全を守るため、登校時の立哨指導や交通安全教育等を行っています。

12月3日(金)～5日(日)／みんな幸せ・共生社会 県民のつどい

障がいのある人もない人もみんな一緒に楽しもう！

12月3日～9日の障害者週間を記念し、障がいや障がい者に対する理解を深めるため、「みんな幸せ・共生社会 県民のつどい」が、すぎとピア（大字堤根）にて開催されました。今回は、県の共生社会づくり推進週間と町の障がい者週間記念事業を共同で行ったものとなり、会場では杉戸町障がい者団体活動展示、すぎとアールブリュット展、特別支援学校および特別支援学級の作品展、東京2020パラリンピック聖火リレートーチ展示を行いました。

また、最終日には記念式典、障がい者団体の発表、県立学校および町立学校の映像によるステージ発表のほか、ピアニストによるコンサートや屋外で青空市も開催され、たくさんの催しが行われました。当日は多くの方が参加し、各団体の発表や展示に触れ、障がい者に対する理解を深める一日となりました。

福祉課

11月22日(月)～26日(金)／杉戸深輪産業団地企業連絡会第1回クリーン作戦

まちの美化への意識が高まる

杉戸深輪産業団地および杉戸屏風深輪産業団地内（大字深輪・大字屏風）にて、「第1回クリーン作戦」が実施されました。両産業団地内の企業で組織された企業連絡会により行われ、22社が参加しました。

商工観光課



産業団地内の植え込み等には、空き缶やペットボトルなどがあり、まちの美化意識が高まりました。

12月23日(木)～1月12日(水)／杉農生制作の門松展示

伝統の門松、新年の幕開けを飾る

役場第三庁舎玄関前に、杉戸農業高等学校造園科生徒が制作した門松が1対展示されました。日本の伝統文化の継承を目的として、今回で12回目を迎えました。制作された門松は、来庁される方々から大変ご好評をいただきました。

財産管理課



〔代表者コメント〕：来年はみんなが健康に過ごせるようにとの願いを込めて作りました。

